

# 【平成30年度山田中学校学校評価の結果について】

山田中学校 校長 前田 洋

関係法令等により各学校は、学校改善に確実につながる学校評価を目指すとともに、学校・家庭・地域社会の三者が、よりよいパートナーシップを発揮し、共に子どもを育むための学校評価の実施が義務化されています。

学校評価とは、学校の教育活動を教職員だけでなく、保護者や地域の方に評価してもらい、改善に生かしていこうとする一連の活動です。

学校評価は大きく分けると、学校の教職員が自分たちの取組を自己点検する「**自己評価**」と、保護者や地域の代表者による「**学校関係者評価**」があります。

今年度は評価表の中に、PTA活動に関する項目を設け、新たな視点で本校の教育活動を分析しました。

学校評価の年間の流れは以下の通りでした。



## 【学校評価年間スケジュール】

### (1) 学校経営計画の作成

年度当初に、1年間の学校経営方針を作成し、PTA総会にて説明しました。

### (2) 教職員による自己評価のための資料収集

12月中旬に、教職員が自己評価を行うための客観的な資料として、以下のアンケートを実施しました。

- ① 生徒による学校の教育活動評価
- ② 保護者による学校の教育活動評価
- ③ 教職員による教育課程実施状況の反省

### (3) 教職員による自己評価

(2)の資料を基に、これまでの自分たちの取組がどうだったのか、効果を上げているのか、どのような改善や対策が考えられるのかを協議し、自己評価を行いました。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

学校関係者評価委員会（学校運営協議会）に対し、(3)の結果、今後の学校の対応について説明し、指導助言をいただきました。さらに、学校関係者評価書を作成していただきました。

### (5) 評価結果の保護者（PTA会員）等への公表

最終的に、裏面のとおり「学校評価及び改善計画」を作成しました。公表の方法については、今回のこの資料の配付及びホームページでの公開によって、保護者や地域に伝えることにしています。裏面の文字が小さくて見づらい方は、ホームページをご覧ください。

なお、都城市教育委員会へも報告します。

